

登録サロン数

100

令和4年3月1日現在

登録サロン種別

	高齢者向け	児童向け	異世代交流等	認知症カフェ	当該年度新規	当該年度廃止	備考
東部	8	0	13	0	5	1	
中部	15	2	11	1	6	1	
西部	9	2	7	1		2	
南部	5	0	1	1	2		
北部	9	5	8	2	3	2	
合計	46	9	40	5	16	6	

開催場所(重複あり)

	公共施設	自治会館・集会室等	個人宅	民間事業所等	屋外	その他
東部	4	7	1	8	1	0
中部	17	2	2	6	1	0
西部	10	5	0	4	0	0
南部	2	3	2	0	1	0
北部	14	8	0	1	1	2
合計	45	26	5	19	4	2

【趣味】

	高齢者向け	児童向け	異世代向け
東部	4	0	5
中部	5	0	1
西部	2	0	3
南部	1	0	0
北部	4	1	5
合計	16	1	14

【茶話会・会食】

	高齢者向け	児童向け	異世代向け
東部	4	0	4
中部	8	1	7
西部	7	1	4
南部	2	0	2
北部	3	4	4
合計	24	6	21

【体操】

	高齢者向け	児童向け	異世代向け
東部	0	0	3
中部	2	0	1
西部	1	0	1
南部	2	0	0
北部	2	0	1
合計	7	0	6

【その他】

	高齢者向け	児童向け	異世代向け
東部	0	0	1
中部	0	1	3
西部	0	0	0
南部	0	1	0
北部	0	0	0
合計	0	2	3

【運営継続支援】

＜R2年度＞

新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言発令によりサロン運営者へサロン活動自粛の通知を送付。緊急事態宣言解除後に活動再開に向けての注意点やチェックリストを運営者へ送付し支援を行い、また、物品消毒やマスクを提供し、活動再開時には必ず訪問し、感染予防のチェックと状況把握、運営者への相談支援を実施。

なお、活動中止のサロンへは代替活動として、お手紙やチラシ、マスク、非常食、お菓子等の配布し、運営者には随時相談と提案支援を実施。

＜R3年度＞

緊急事態宣言発令により活動自粛依頼。サロン活動が雄越えない状況が続く、身体の衰えを感じたり、外出の機会がなくなり孤立を感じる等の相談があったため支援策を検討。

市内5ヶ所の地域包括支援センターとの連携で、包括センター前で配布会を実施。

活動できない運営者の心のもどかしさ等を軽減するため、運営者から参加者へ連絡。企業や施設から寄付された物品、自宅でする軽体操チラシ、体力チェック表を配布し、同時に感染予防のもと軽体操、食事の話しを実施。

第一回配付会：

(東部)212名、(西部)140名、(中部)187名、(南部)83名、(北部)85名、計707名

第二回配布会：

(東部)149名、(西部)130名、(中部)141名、(南部)76名、(北部)53名、計549名

全体で1,256名が参加

【立ち上げ支援】

毎年、サロンに興味のある方向けの講座「サロンはじめてみませんか？」やサロン同士の横のつながり作ったり、情報交換の場であるサロン交流会を実施してきたが、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたため、個々に寄せられた立ち上げ相談に対し、丁寧に聞き取り、提案・アドバイスの支援を行い、コロナ禍においても21団体のサロンが立ち上がった。